

株式会社Catallaxy

DX共創のご紹介

2025年11月09日作成

目次

• 会社概要	3
• Catallaxyの「DX共創」とは	4
• なぜCatallaxyが選ばれるのか	5
• 実績紹介① JR九州様	6
• 実績紹介② 阪和興業様	7
• 実績紹介③ FFGインダストリーズ様	8
• ご契約からDX共創の実施までの流れ	9
• 料金	10
• お問い合わせ先	11
• Appendix: なぜあなたの会社にDXが必要なのか？	12

Catallaxyについて

Catallaxyについて

株式会社Catallaxyは、お客様の現場に深く入り込み、**課題抽出から業務再設計、プロダクト開発までを一気通貫で伴走するDX共創パートナー**です。ヒアリングから最短1週間でプロトタイプを提示し、1～3ヶ月で実装・運用へ到達。現場と経営が同じ目線になるデジタル前提の業務オペレーションを実現します。

- ・ 阪和興業・JR九州・FFGなど日本を代表する企業のDXプロジェクトを多数伴走。
- ・ 現場ヒアリングから改善サイクルまでを一気通貫で支援し、成果を汎用テンプレートとして展開。

会社名	株式会社Catallaxy（カタラクシー）
設立	2015年7月9日
社員数	8名（少数精鋭のフルスタック体制）
主な対応領域	製造業／商社／インフラ・物流
主要サービス	DX共創／DXコンサルティング／SaaS開発・運用

Catallaxyの「DX共創」とは

以下のステップで貴社の業務をデジタル前提の業務オペレーションに生まれ変わらせます。

1. ヒアリング

徹底したヒアリングを通し、データドリブン経営に変革するためのアイデアを収集。

2. プロトタイプ作成・目線合わせ

1週間以内に体験できるプロトタイプを提示し、議論を深めながら目線合わせ。

3. MVP開発・導入

1～3ヶ月でMVP(Minimum Valuable Product)を作成し、導入・レビューを通じてデータ一元管理の手応えを模索。

4. 現場改善ループ・データ利活用

導入後も現場フィットするまで改善サイクルを継続し、定着・活用を底上げの上、吸い上げたデータを元にした次の方策・アイデアを模索。

Catallaxyが選ばれる4つの理由

① DXのやり方を知っているから

- 数々の企業でデジタル前提のオペレーションへリニューアルした経験から、**答えから逆算してDX実現が可能。**
- 中長期の運用フェーズまで見据えたアーキテクチャ設計を徹底。
- 社員全員がエンジニア経験あり

② 開発スピードがとにかく早いから

- 1～3ヶ月でβレベルまで構築し即導入。
- **最先端のスキルセットに精通**し高速開発が可能。
- 現場の声を即日リリースへ反映。

③ すぐにフィードバックがあるから

- PoC段階で低コスト導入し投資判断を容易化。
- 成果確認後の全社展開をスムーズに支援。
- 社内政治・抵抗勢力への調整も伴走。

④ 現場の業務を徹底的に理解してくれるから

- **徹底した現場密着**による人間関係の構築
- 経営～現場まで共通言語を作り合意形成を加速。
- 複数業界への横展開ノウハウを保有。

実績紹介① JR九州様

資材調達業務を一元管理する「Tera-sys」をわずか1ヶ月でリリース

提供内容

- 資材調達業務とそれに伴うワークフローの電子化。
- データ分析基盤を構築し、データドリブンの業務レクチャー。
- 仕入先とのコミュニケーションのデジタル化。

成果

- 現場改善要望を即時システム反映し、意思決定を高速化。
- 交通新聞1面に掲載されるほどのインパクトを創出。
- データドリブンな調達判断を複数部署で共有可能に。

技術スタック

- Backend: Supabase + Vercel Functions
- Frontend: Next.js + TypeScript
- Supabase／Box API連携



実績紹介② 阪和興業様

WMSと配車管理システムの導入による鋼材倉庫管理・流通のDX

提供内容

- WMS、AI-OCRハンディ、配車管理システムの一括導入。
- スマホ＋ハンディ端末で現場在庫をリアルタイム連携。
- 複数拠点で共通テンプレートを展開し管理指標を統一。

成果

- β版～現場運用まで2ヶ月で展開し倉庫内のPDCA改善の高速化。
- 入出庫や配車ルート of 可視化でムダ工数を大幅削減。
- 取引先・物流会社との情報連携がリアルタイム化。

技術スタック

- Backend: Supabase + Vercel Functions
- Frontend: Next.js／React
- OCR／PWA／MoneyForward連携



実績紹介③ FFGインダストリーズ様

サプライヤー選定・見積管理プラットフォーム「Finds」を共創

提供内容

- サプライヤーマスタ／案件／見積回答を一元管理。
- JR九州や地域パートナー企業とのデータ連携を実装。
- ダッシュボードでスコアリング&意思決定を高速化。

成果

- 調達判断の属人化を排除し、透明性ある比較を実現。
- 銀行情報アセットを活かし、地域サプライチェーンのマッチング率向上に寄与。
- 将来のSaaS展開を見据えたマルチテナント設計。

技術スタック

- Frontend: Next.js + TypeScript
- Backend: Supabase + Edge Functions
- Box API／Supabase／Metabase連携



ご契約からDX共創の実施までの流れ

1. キックオフ／プロトタイプ作成

課題感・目的・体制を共有し、準委任契約のスコープと成果指標を定義した上で**プロトタイプを作成**。

2. ご契約

プロトタイプを確認し、目線を合わせた上で範囲と期間を合意し委任契約を締結。体制や進め方を最終確定。

—— 実務フェーズ ——

3. 現場ヒアリング

経営～現場までヒアリングし、**業務の徹底理解とデータ構造へのプログラム変換**。

4. プロトタイプをMVP化

作成したプロトタイプから優先機能を抽出し、MVPとして磨き込む。

5. 導入

1～3ヶ月でMVPを導入し、**レビューを反復して業務適合度を高める**。

6. 改善サイクル・データ分析

現場にフィットするまで改善を継続し、データ分析を通じて次の一手を検討。

料金

アジャイル開発による業務伴走支援のため、**準委任契約**となります。

料金目安	月額150～200万円（税別）
提供内容	ヒアリング／開発／運用伴走を一体で支援し、プロトタイプ～MVPを継続リリース
進め方	週次レビューで成果物を確認し、優先度を擦り合わせながら改善を継続
その他	追加ツール費・外部API費は実費。成果に応じたSaaS化／保守も柔軟に設計

お問い合わせ先

株式会社Catallaxy

DX共創チーム（担当: 大石）

info@catallaxy.me

<https://catallaxy.me/>

ご相談内容を共有いただければ、1営業日以内にヒアリング日程をご提案します。



Appendix: なぜあなたの会社にDXが必要なのか？

生成AIの登場は、単なる業務効率化の技術革新ではなく、人と仕事の関係そのものを問い直す転換点です。これまで人が担ってきた判断・整理・伝達の多くがAIに代替されるなかで、企業は「**人間のオペレーションを前提にせず、デジタルに仕事を委ねる領域**」を再定義する必要が出てきました。

しかし、その判断を正しいものにし、さらにAIに委ねる仕事の選択肢を広げるためには、まずデジタルを前提とした業務構造への転換が欠かせません。AIは紙やExcelの中では動けません。現場のオペレーションのUI/UXを高め、データが自然と一元管理されるように整備され、システム同士がAPIでつながり、業務の流れが可視化されて初めてAIは理解し、判断し、行動できるようになります。

DXとは、この「AIが働ける環境」を整えるための構造的な取り組みです。DXはゴールではなく、自動で業務が回るための前提条件にすぎません。これを怠れば、生成AIという新たな生産力を活かせず、競争の土俵から外れていくでしょう。AIが業務を代行する時代だからこそ、人が創造し、決断し、価値を生み出すための基盤づくりこそが、今DXに取り組むべき本当の理由です。